

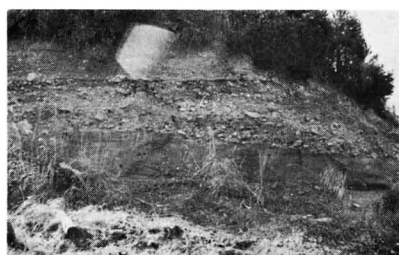
別の地層のように観察されますが、これは、㉑のレキ層に含まれる地下水のために、泥層に含まれていた鉄分が酸化して淡黄色となったもので、もとは、右端と同じように青灰色をしていたものなのです。

⑥ ㉑のレキ層のレキの大きさ、形を調べてみよう。

(4) 地層の広がり の観察

① ここから道路をはさんで西に 100 m 程の所に材木置場があり、図は材木置場の南崖に見られる地層㉒です。

㉑層の場合と同じ方法で地層を観察して、地層の特徴を調べてみよう。



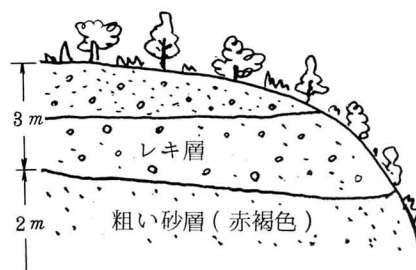
② ㉑層の中で、㉒層の下の粗い砂岩（赤褐色）と似ている地層はないか調べてみよう。

㉑層では、一番下に見られる赤褐色の粗い砂岩は、㉒層の粗い砂岩と同じ地層と考えられます。

しかし、㉑層では粗い砂岩の上に、泥層が重なっているのに、㉒層では、レキ層が重なり、㉑層と㉒層の関係は理解しにくくなります。だが、良く調べてみると㉒層の粗い砂層に重なるレキ層は、不整合関係（粗い砂層が、たい積したあとで一度陸化し、その後、再び海底となり、その上にレキ層がたい積）なので、粗い砂層の上に、泥層がつもっていたのが、一度陸化したときに削られたと考えることができます。

したがって、㉑層と㉒層は、連続するものと解釈できます。

もし時間があれば右写真に見られるように、材木置場南側崖から西側崖に地層が続いて見られるの



で、同じ地層を追い、地層の広がりを理解させることができます。